

# 農業市場学研究室案内2019年前期

2019/04/11

## 1 教員の講義担当

	氏名	講義名	対象学年
教授	野見山敏雄	食料・環境問題 (分担) 農業・市場学 (分担) 現代農業論 (分担) 食料環境経済学Ⅲ (分担)	1年 (前期) 3年 (前期) 3年 (後期) 修士1年 (前期)
助教	観山恵理子	農業経営学総合演習 (分担) 農村社会学調査 (分担) 食料シミュレーション (分担) 現代農業論 (分担) 食料環境経済学Ⅲ (分担)	3年 (前期) 3年 (後期) 2年 (後期) 3年 (後期) 修士1年 (前期)

## 2 教員および院生・学生の研究テーマ

教授	野見山敏雄	1, 産地の市場対応と産地形成 2, 産直流通の展開課題	
助教	観山恵理子	1, 青果物の流通における価格形成 2, 災害と地域農業の復興	
博士課程	佐藤 忠恭 松島 耕太	まちづくりと都市農業に関する研究 条件不利地域の内発的発展に関する研究	
ラボ・ローテーション	白井 さよ	エダマメの流通について	
修士課程 2年生	細川 貴央 塩田 幹大 塩倉 幹人	農産物の輸出に関する研究 病院給食における地産地消に関する研究 日本における家畜排泄物由来肥料の流通と利用について	
1年生	西原 実穂 吉田 正恵 蘭 愛明	ハイクオリティ(GM技術)がもたらす社会経済的影響 民間金融機関の地域農業振興における役割 日本におけるコーヒー産業に関する研究	
研究生 4年生	鳥雲 高娃 岩月 龍平 川崎 心 関口 翠	農産物流通及びフードビジネスにおける外国人労働力の活用問題 余剰食品削減アプリの評価 農産物のブランディングとマーケティング 卸売市場の役割の変化について	

## 3 学部卒業生および大学院修了生の進路 (末尾の数字は卒業・修了年度)

学部卒業生	大学院修士課程修了生
<ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)キューソー流通システム-18</li> <li>・本学大学院農学府MS専攻-17, 16, 15, 13×2, .</li> <li>・東京大学大学院農学生命科学研究科-17</li> <li>・(株)NTTコムウェア-17</li> <li>・(独)勤労者退職金共済機構-16</li> <li>・日本コントロールシステム(株)-16</li> <li>・(株)やまびこ-15</li> <li>・住商フーズ(株)-15</li> <li>・草津ナウリゾートホテル-15</li> <li>・経産省-14</li> <li>・三井化学アグロ(株)-14</li> <li>・日本貿易振興機構(JETRO)-12</li> <li>・農林水産省-09</li> <li>・赤城乳業(株)-09</li> <li>・中国留学(中国人民大学)-08</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学大学院連合農学研究科-18, 14, 09, 03, ...</li> <li>・(株)日立物流-18</li> <li>・(株)DYM-18</li> <li>・J.A.全農三重県本部-17</li> <li>・(株)ロピア-17</li> <li>・(株)セブンイレブン・ジャパン</li> <li>・東京都庁(行政)-16</li> <li>・日本甜菜製糖(株)-16</li> <li>・エスピー食品(株)-15</li> <li>・アリアケジャパン(株)-15</li> <li>・(株)イーサポートリンク-15</li> <li>・(株)システムエグゼ-15</li> <li>・(株)吉野家ホールディングス-15</li> <li>・日本生活協同組合連合会-14</li> <li>・(株)ロイヤリティマーケティング-14</li> </ul>

## 4 最近の卒論及び修論のテーマ(・=卒論, ◇=修論)

- ・ネットワーク型フードバンクにおける運営の効率化—NP0フードバンク岡山を事例として—-18
- ・農業への新規参入者の支援策に関する研究—埼玉県宮代町の取り組みを事例として—-17
- ・農産物直売所の課題と展望に関する研究—地産地消・地場流通の展開過程の観点から—-17
- ・特殊肥料の生産と流通に関する研究-17
- ・狭山茶のブランド・マネジメントの課題とその克服に向けた考察-16
- ・新規用途米粉をめぐる現状と普及の意義-16
- ・20世紀から21世紀初頭における清酒製造業者の企業構造の変化に関する研究-16
- ・都市近郊農村における移住・定住推進策の検討—千葉県いすみ市を事例に—-15
- ・行政との協働によるフードバンク活動について—NP0フードバンク山梨を事例にして—-15
- ・米価低迷下における農協産直の現状および課題—JA庄内みどりと生活クラブ生協連合会—-15
- ・製粉企業による国内産小麦使用拡大に向けての課題-15
- ◇中山間地域における内発的発展の再検討-18
- ◇清酒輸出の展望と課題—コンソーシアム形成による輸出を事例に—-18
- ◇生協産直におけるインターネット導入による需給調整ならびに消費者コミュニケーションの変化-18
- ◇国産米における価格帯別需給不均衡に関する—考察-17
- ◇有機農産物の第三者認証制度の日中比較-17
- ◇中国におけるCSAの展開過程—北京と成都の事例を中心として—-17
- ◇組合員の主体性からみる生協産直の今後の展望—つながり作りに取り組む2生協の事例から—-16
- ◇飼料用米給与豚肉の商品的性格の検討-16
- ◇系統農協組織を介した地域内連携と大豆産地の現状-15
- ◇新規就農者の現状と定着に向けた課題—千葉県を事例に—-15
- ◇業務用キャベツにおける契約取引の実態と持続的取引に向けての課題-15